

「ここでやりたいこと」をみんなで考える 新施設ワークショップだより

2025年
4月12日発行
No.03

ワークショップについて

現在、松山市では、JR松山駅前の「車両基地跡地」で賑わいと交流が生まれる拠点づくりを目標に、必要な機能や規模等を定め、設計につなげるための「基本計画」の検討を行っています。このワークショップは、世代や立場の異なる人が集い、JR松山駅前に必要な機能等を一緒に考え、それぞれの想いを共有することを目的に開催しています。

令和7年3月8日(土)、第3回みんなで考える新たな施設ワークショップを開催し、19名の方にご参加いただきました。当日のワークの様子をこのニュースレターを通してお伝えします。



グループワークの様子

今回のテーマは『訪れやすい、使いやすいルールを考えよう!』。

今回も前回と同様に、考えたい施設の方向性ごとに分かれてグループワークをしていただきました。

前回話し合った『「やりたいこと」を実現するための空間』を思い浮かべながら、日常的に人が訪れ、賑わいのある場所にするために必要なルールについて、市内公共施設、他自治体の事例と比較しながら柔軟に考えていただきました。

鑑賞者目線や利用者目線の意見、施設だけでなく、まちづくりにまで視野を広げた意見など、さまざまな視点からの投げかけがありました。最後はグループごとに意見をまとめ、発表していただきました。グループによって重視したポイントが異なり、新たな気づきが得られたという感想もいただきました。



チューリップチーム



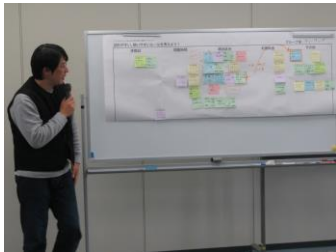
菜の花チーム



ネモフィラチーム



ももチーム



- ◆ 芸術監督制の採用
- ◆ 主催・共催・貸館のバランス
- ◆ 逃げ場

- ◆ ここで一句「松山は 優しさ 融通 文化理解」
- ◆ 未来を見据えた投資・育成

- ◆ 防災が大切
- ◆ 究極、すべてフリー
- ◆ 定額制・サブスク制

- ◆ 理想と現実で考える
- ◆ 施設運営リソースの工夫
- ◆ 割引や一部無料の料金制度

なんでもアンケート

- ◆ 他のグループの意見で納得できるところが多かった。50年後、100年後にドドンと投資できる我々でありたい。
- ◆ 市民の手でつくる「みんなで考える」ということの面白さをもっと広げてほしいです。
- ◆ 市民と地域の結びつきを深めるコミュニティづくりに役立つ施設になってほしいです。
- ◆ 次回の最後の会は、皆で熱い思いを共感できることに期待したいです。

※レイアウトの都合上、皆さまからのご意見を一部抜粋しています。ご了承ください。

次回予告

新しい施設は、さまざまな人が訪れる「交流拠点施設」です。これまでのワークショップでは、施設の機能やルールについて考えてきましたが、今回はさらに視点を広げて、人と人、人とエリアが「つながる」施設とするためにはどのような施設とすればよいかを考えます。

第4回 観る人、使う人、訪れる人… 人と人、人とエリアがつながる交流拠点の将来像とは？
2025年4月12日(土)14:00~16:30 松山センタービル4階 第1会議室

ご意見のまとめ

発行：松山市都市整備部 交通拠点整備課 編集：(株)シアターワークスジョップ

チューリップチーム

休館日	開館時間	貸出区分			利用料金	その他
・休館日は他施設と合わないようずらして利用増 ・休館日火曜日(他施設とずらす) ・JR終電後すこせる(ネカフェみたいな)365日24時間営業	・24時間営業 ・23時まで開けてほしい ・ホール使用23時まで ・職員と別に市民スタッフを募って時間外営業にも対応 ・練習室24時間利用 ・JR終電後すこせる(ネカフェみたいな)365日24時間営業	・主催 スケジュール2/12、予算1/2 ・会館主催事業 ・主催は最優先で年に1回程ビッグアーティストを呼び経済効果をはかる ・呼びたいアーティストの市民アンケート ・ロングランの公演も可能 ・貸館 スケジュール7/12 ・貸館は1年前開始…激戦の可能性あり	・共催 スケジュール3/12、予算1/2 ・共催事業をプレゼン制にして、採用されたら一緒にやるようにする ・利用者+会館で行う事業 ・館との共催はホール利用募集を2年前開始、1年半前発表(〇件まで) ・平日の共催	・練習室予約開始 ・ホール予約者:1年前 ・日常使い:3か月前 ・ワークスペース予約開始 ・半年前 ・空き時間のホールを時間貸し(合唱団等の練習用)	・半券でJRが安くなる ・松山市民は無料 ・練習室市民割引 ・クラウドファンディングした人の特権をつくる	・逃げ場 ・つばきネット使用感改善 ・スマートロックを活用して人件費削減 ・市民会館の現状はまずい ・各施設の独立利用可能化 ・演劇の小道具製作空間 ・楽屋、トイレ、搬入口設置 ・防音、音響、搬入口の設置 ・プログラムディレクター ・芸術監督制を採用

つながっている

菜の花チーム

休館日	開館時間	貸出区分	利用料金		その他	
・週1回休むことはOK でも融通が利くように ・松山は テーマ 優しさ、融通、文化理解	・延長できること(有料可) ・JRの時間に合わせた開館 (一部でも) ・駅直近 ・待合室替わりの様々な活動ができる 始発～終電 ・カスタマイズ	・昼公演(コンサート)調律 準備を朝からできる貸出 ・練習室は一時間単位で 貸出 ・会場スタッフポイント制 ・10回利用したら1回無料	・私たちの手で未来を 見据えた施設を ・中長期的視点からの投資 が必要(育成) ■料金系 ・市民が使いやすい料金 ・松山市民への優遇→ 市民が使える施設に ・無料のフリースペース ・カスタマイズ ・パターン貸しプラン ・仕込み作業の時間の料金 安く、または無料 ・パターン貸し 用途ごとの 貸出セット ・毎年必ず入る行事は優先	■スタッフ系 ・文化に理解ある人、相談 できるスタッフの育成 ・ホール職員のスキル大切 ・職員を育てる研修 ・民間の指定管理に入って もらう→効率化 ・文化と商業のバランス ■教育 ・ギフト制チケットで見られ ない人に体験を ・学生は低料金で鑑賞可能 ・若者支援→未来へ投資 ・教育的なイベントの割引 ・無料は不可、お金払って 観る文化、観客を育てる	■スタッフ系 ・出向く事前の細かい打ち 合わせをウェブ会議など で実施できる ・指定管理は一定の年数で かわってしまう→ 数年単位で方針が変わる ・舞台上演への理解 ・広報活動可能なスタッフ ・文化に理解のある民間 でないとはダメ ・事前会議zoomでも可能 にする	■会館チケットセンター ・会館主催のイベントを 増やす ・施設の友の会をつくる ・受付でチケットが買える ように ・チケットセンターの併設 →会館でも売る ・松山版 TSUTAYA Café+本屋さん ・外国人に松山の魅力が 伝わるようなスペース ・観光案内所を兼ねる ・イベント紹介 ・愛媛の文化人を紹介

ネモフィラチーム

休館日	開館時間	貸出区分		利用料金		その他
■究極 すべてフリー ・365日～0日 24時間 ・常時開放	■究極 すべてフリー ・365日～0日 24時間 ・常時開放 ・9:00～22:00	■究極 すべてフリー ・フレキシブル (バリアフリー) ・児童、学生、生徒 ・学校行事 教育目的の区分 ・予約制 ・年間利用契約	・施設の目的(文化振興スポーツ振興)に沿ったものの優先予約 ・事前登録 ・審査制 ・興行目的	■究極 すべてフリー ・フリー ■割引 ・創作過程を見せる場合はロビー利用の割引 ・障害者割引 ・学割貸出 ・設立〇年までの団体の割引利用 ・プロとアマの差 ・市民、市民外 ・前金制	■変動制 ・レヴェニューマネジメント ・利用の少ない日曜日を割引事前募集しシリーズ企画化 ■定額サブスク ・定額制 ・定額 ・定額＋歩合 ・サブスク＋オプション ・利用料金プラスで広報、運営の協力プラン	■運営に求めるもの ・コンセッション ・誘致 ・管理の省人化 ■災害対応 ・災害時のキャンセルの考慮 ・災害時の施設の開放 ・防災機能 ・愛媛・松山の現在ある問題点の改善を考える
・ホール ・アリーナ ・小劇場 ・共用部(外・中の日常利用) ・いつも開いている ・いつも人がいる 共用部 ・会議室 けいこ場 ・待合スペース	・大通りが見えやすいエリアの電車が動いている時間帯の利用可 ・会議室、稽古場の利用時間 ・遅い時間まで(仕事終わりに使える) ・カフェ 路面店 ・大手チェーンの誘致	・内部の施設より長い時間開いているカフェ(オープンテラス等で管理切分け) ・学習スペース、コミュニティ ・スペース 9時-22時 ・ベンチ ・バリアフリートイレ	・イルミネーション ・プラネタリウム ・アクアリウム ・アーティストの美術製作のエリアをロビーに設ける ・普段利用の市民が制作過程をみれる	・広場に一部スペースを作る(パフォーマンスエリア) ・フリーピアノ ・ジム ・マンホールトイレ ・喫煙所 ・らく描きスペース	・マルシェ ・コンポスト ・かまどベンチ ・スケボーエリア、ドッグラン ・専用エリアで利用者棲分け ・市民提示企画認められたら施設共同企画	・練習スペース 顔認証 ・24時間利用可 ・利用者のマナー ・建物自体作品として魅力のあるランドマークになる ・常時開放エリアをつくる ・足湯

ももチーム

休館日	開館時間	貸出区分	利用料金		その他	
■理想 ・年中無休 ■現実的には ・定休日を定める必要性 ・メンテナンス日を固定せず利用状況で決める ・利用者が管理に協力して休館日ゼロ	■理想 ・24時間オープン ■現実的には ・夜間利用は利用者管理 ・深夜まであいている ・24時くらいまでいい ・時間帯で利用年齢を変更 ・24時間開放する松山市の英断ほしい	■情報提供 ・開いている時間が見え、その時間帯が予約可能 ・電子掲示板 ■システム ・支所などで予約可能 ・高齢者も利用しやすいシステム AIを活用！ ・予約しやすいシステム ■優先 ・定期的な利用者の優先 ・シーズン、利用目的で予約の優先順位や時期変更	■理想 非営利は無料 営利は有料 ■一部無料 ・福祉の啓発活動だったら無料 ・教育活動での利用は無料 ・赤字経営 低目時に黒字あり 大波小波で	■割引プラン ・年間パスポート ・部活動、地域のクラブチームは割引 ・JR、伊予鉄利用者の割引 近くの施設お店をお得に ・お得に使えるなど ・金がない人は労働で払う	・施設運営は第3セクター ・周辺の自治体と協力する松前町 伊予市など ・客席を移動式とし、コート/容積を広くする ■子供の為に!! ・学校の運動会体育大会 ・子供の一時預かり ■交通手段 ・駐車場の確保 →例えばシャトルバス ・レンタルサイクルと組み合わせる	■施設運営リソース ・部活動生のアルバイト ・シルバー人材の活用 ・学生のアルバイト(高校生でもやりやすい) ・障害者の就労先として ・プロのチームの横で練習 ・毎日JR松山駅をのぞきしよう(今、毎日変化中) ・今こそ写真が貴重だとまこうろ ・交通拠点整備課職員のWS発表をさせたい
・バリアフリー化に向けた利用者の協力 自分たちも一緒に運営 ・運営協議会 1回/3か月ぐらい いろんな立場の人 ・次回は野志市長の来訪を！！						

※レイアウトの都合上、皆さまからのご意見を一部抜粋しています。ご了承ください。